



あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

Kitchen Garden

タマネギのまきどきと上手な苗作り

監修 佐野 陽平



タマネギはあまり早くまき過ぎると冬に入る前に大きく育ち過ぎ、低温に感応してとう立ちする場合があります。失敗がちです。適正なまきどきは早生種9月上旬、中生種9月15日前後、晩生種9月20日ごろです。

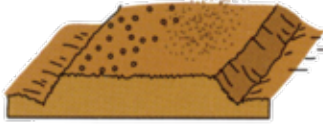
タマネギは土壌の酸性に弱い最適PHは6.3～7.8)ので、苗床の予定地は早めに石灰を施し、20cmぐらいの深さによく耕しておきます。

苗床は幅80～100cm、高さ15～20cm(低温地では幅を狭く、高さを高くする)とし、あらかじめ化成肥料を全面にまき、深さ15cmぐらいに耕し込んでおきます。

種まきは床面をきれいにしたら、3.3平方m当たり40m¹内外

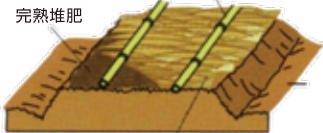
種まき。種が見えなくなるくらい覆土する

ふるいで均一に振り掛ける



風で飛ばされないよう竹で押さえる

完熟堆肥



稲わら



草丈3～4cmの頃、混んでいる所を間引く



間引き後、化成肥料を少々ばらまき、ふるいで土入れする

の種を均一にばらまきます。その上に草木灰を種が見えなくなる程度に掛け、さらにそれが見えなくなる程度にふるいで土を均一に掛け、板切れなどで軽く押し付け、鎮圧します。その後細かく砕いた完熟堆肥、またはもみ殻で土が見えなくなるくらいに覆います。そしてたっぷり灌水(かんすい)し、稲わら前面を覆い、強い降雨や、強日光による乾燥を防ぎます。

通常6～7日で発芽しますから、全体に発芽し1～2cmに伸びたら、被覆していた稲わらは取り除きます。乾いていたら全面にたっぷりジョウロで灌水し、そろった発芽を促します。

草丈が3～4cmに伸びた頃、密に生えたら間引き、1.5cmぐら

いの間隔にします。間引きの後、少量の化成肥料を追肥し、ふるいで土を掛けて土入れします。

この頃は秋雨が降り続くことが多く、葉の一部がぼんやりと黄化するべと病が発生しやすいので、早いうちに展着剤を加えた適応剤を散布し、完全に防除しておきます。

11月上旬中旬になり苗の大きさが草丈20cmぐらになったら畑に定植します。苗取りは、床が乾いていたら十分灌水し、根をできるだけ切らないよう、大きい株からできるだけそろえて引き抜きます。こうすれば本畑での早い活着は請け合いです。

板木技術事務所 ● 板木利隆



GOOD! オススメお買い得のお米

秋の味覚、おいしいお米の季節がやってきました。JAの安全・安心・新鮮なおいしい新米をぜひご賞味ください。JA富士市ふれあいセンター購買課、または各支店購買窓口へお問合せください。



静岡コシヒカリ

《規格》 10kg・5kg

富士山や南アルプスの伏流水、ふりそそぐ太陽の光、豊かな大地が育てた旨味に富んだコシヒカリです。静岡県で最も多く栽培されている品種で、静岡産の新米コシヒカリは本州で最も早く出回るコシヒカリの一つとして知られています。



新潟コシヒカリ

(しらゆき米)

《規格》 10kg・5kg

“日本一のお米”とよく言われている「新潟コシヒカリ」は、新潟の美しい自然に育まれた豊かな大地、水、そして寒暖の大きい気候が、最高のコシヒカリを生み出します。

7の付く日はお米の特売日!!
そのほか、そなえ名人をお持ちの方限定の値引きもあります。
(土日対応については各支店へお問合せください)